

阿弥陀南陵

山行日 9月6日(月) 天気:曇りのち晴れ一時夕立

参加者 2名

記:SF

コース: 船山十字路 5:15 → 南陵広河原取付 5:40 立場山 7:20 →
青ナギ 7:40 → 無名岳: 8:20 → 第三ピーク 9:05 →
阿弥陀岳 10:30 → 中央稜分岐: 10:50 → 第一岩稜 11:35 →
1回目渡渉点 13:15 → 2回目渡渉点 13:30 → 船山十字路 14:00

昨年天候の影響で断念したルートを再チャレンジで、出かけた、今回はMさんが同行の為P3ピークを直登するコースに変更、前日のよる戸塚駅 20:00 に出発し須磨南インター傍のコンビニの駐車場で、仮眠をとり、翌朝4時に出発し船山十字路に朝4時30分位に到着この日は平日であったので、駐車場には一台も止まっていない、まだあたりが位ので、茶中で朝食をとり、明るくなった5時に支度をし、出かけた、天候は曇りで少し霧が出ている最初の目的地南陵広河原取付までは、林道を歩く、昨夜の雨で道は一部川のような場所もあった、約25分位で取り付き点に到着、ここから沢を渡り南稜尾根に取りつく、普段は沢の水量が少ないが、今回は水量が多く、すこし渡渉場所を探し通過、尾根までは急な斜面ですが、踏み跡を取り付き点まで登った、ここからは尾根筋を立場山へ向かう、尾根道の右側は、松茸の生える場所の為、新入禁止の看板とワイヤーが張られている、又コースは直登で尚急な為、体力を消費する、立場山周辺は広い尾根になり、苔が多い綺麗な場所です、ここから20分位平らなコースで、青ナギと呼ばれる場所に、到着ここから今日の核心部のP1-P3阿弥陀岳が見える、青ナギは、右側の斜面が切れていて長さが約70m位の場所です、ここから次の目標無名岳の間は、立場山までよりさらに、急登になり足場も滑りやすい、ここからが、本日の核心部分になる、ここからはシャクナゲが多く登山道も狭く露で、ズボンが濡れる、最初にP1ピークに、ここは左側を巻いて通過、次のP-2ピークへは一度下り、少し平らな場所を通過、ネットのゲーターで、この平らな部分にテントを張った記事があった、このピークも左側に踏み跡があり、巻いて進む、P-3ピークへは、P-3ピークの尾根端へ大きく左側に迂回するコースで尾根端に金属盤がありP-3直登コースとルンゼコースの分岐標識がある、今回はMさんが一緒なので直登コースを選択Mさんに登ってもらい、ザイルで安全確保を行い登った、最初の部分で岩が一部飛び出している場所の通過が大変でした、その先は少し緩やかな傾斜となり、スムーズに登る事が出来た、この場所はP-3ピークの間地点の為、ザイルをつないだ状態で、ピークまで進む、最初はハイ松の中を続いて、低木の場所、最後に大きな段差の岩を超えピークに到着、ここからP-4ピークまでの踏み跡が見えたので、ザイルを外した、P-4ピークは左側から回り込み通過、その後阿弥陀岳の山頂直下にでる、ここからは山頂まで最後の斜面を登ると、山頂に到着、山頂には立派な標識があり南稜コースを表示(一般ルートでは無いの注記がある)山頂では、天候が回復し、赤岳、眼下には、行者小屋、美濃戸山荘が見えた、午後より天候が崩れる予報なので、早々に下山を開始した、最初下山コースは御小山ルートの予定でしたが、中央稜分岐で、登って来る登山者がいたので、コース状況を確認し、踏み跡もしっかりあり問題が無いと聞いたので、コースを変更し中央稜を下山したこのコースも一般ルートでは無いが、コースは急な下りで狭い尾根ですが、踏み跡リボンがありコース間違えは起こしにくい、但し第二岩盤は踏み跡が岩稜を巻くコースになっているが第一岩稜は、コースが真直ぐ行きやすい、その場所には、倒木でルートを塞ぐ様に又木の枝に手ぬぐいがあり、この場所で岩稜を巻くように左側のコースへ進む必要がある真直ぐに進むと岩稜の先端部になり、ザイル等で下りなければならない、この岩稜はかなり大きい、その為大きく回り込む必要があり、コースも一部不明瞭な箇所もあった、その後少し緩やか尾根になり、さらに下ると川の傍に出る、この場所もまわりの景色が綺麗な

場所で、ここで天候も良いので、昼食タイムを取った、その後川沿いの道を渡渉点までくだる、渡渉点は、岩に→のマークがあり、倒木を利用した場所で、渡渉を行い、川の反対側のルートを決る、次の渡渉点に向かう、次の渡渉点では、岩伝いに渡渉を行い、林道にでた、この少し前より、落雷の音が激しくなり、雨がふりだした、その後夕立になり激しい雨でひょう、が混じる状態が約30分位続いた、早めの下山の為、夕立が林道であったので助かった、船山十字路に付くころには雨も止み、荷物の整理を行いかえる頃には、天候も回復はされました、今回南稜のルートはP-3 ピーク以外巻道が出来ていて、岩場になれていない人であれば、問題無行く事は出来ると、感じました。



5時15分まだ位が出発



広河原橋に到着



広河原取付 南稜の標識がある



昨日の雨で数量が多くなった渡渉場所
普段は、ほとんど水は、無い



南陵尾根取付点



立場山に到着 辺りは苔が綺麗な場所



青ナギ 正面左奥が南陵
P-1～P-4 が見える



無名岳 以前は標識があった
この場所に切花があり、誰かの遭難場所かな



P-1 ピークと思われる
左側を巻いて行く



P-2 ピークと思われる
ここも左側に巻き道がある



P-2 ピークを巻いている正面が P-3 ピーク



P-3 ピークの尾根端に向かう



P-3 ピーク分岐点 看板には 直登ルートと
ルンゼコースが表示されている



P-3 ピーク直登ルート



ザイルを使用し 直登ルートに登る



P-3 ピーク頂上に着く



P-3 ピーク頂上より P-4 ピークへの
尾根道



P-4 ピークを巻き 阿弥陀岳直下



阿弥陀岳の稜線で



山頂直前



阿弥陀岳山頂 後ろは赤岳



山頂での記念撮影



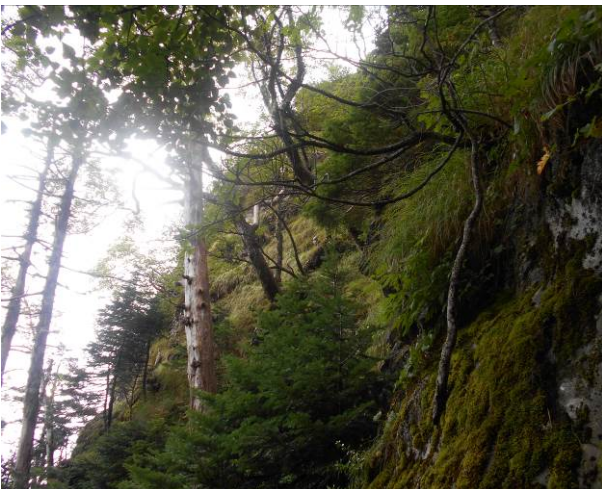
御小屋と中央稜分岐点



第二岩稜を巻く急な下り



第二岩稜巻道



第一岩稜 巻道 少し前で進行方向
左側に巻く



第一岩稜 この場所でルート確認



川の傍でルート確認と 昼食タイム この場所は広く周りの景色が気持ちが良い



第一渡渉点 水量は多い

夕立の中広河原取付に到着



船山十字路に到着 夕立は止んでいた

今回宿泊した 美濃戸山荘ロッジの部屋 宿泊者は私 1名でした。